



キャリアナビゲーター通信 Vol.2

キャリア・パスポートを作成しました！

4月28日(金)の6限に「キャリア・パスポート」を作成しました。小学校でも作成してきたと思いますが、中学校でも引き続き取り組みます。改めて、キャリア・パスポートとは何か、何のために作成するかをおさらいしていきます！

キャリア・パスポートとは？

キャリア・パスポートは、「学校での授業や行事、家庭や地域での学び・経験」を記録し、蓄積していくものです。学んだことを振り返ることで、

- **新たな学習や生活への意欲**
- **将来の生き方を考えること**

につながります。一昨年度から全国で始まり、小学校～高校まで引き継がれていくものになります。

※参照：キャリア・パスポート例示資料等について

どんなことを書くの？

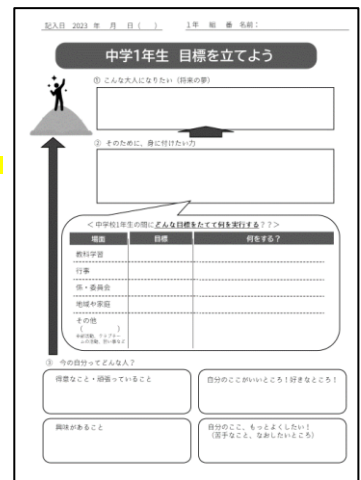
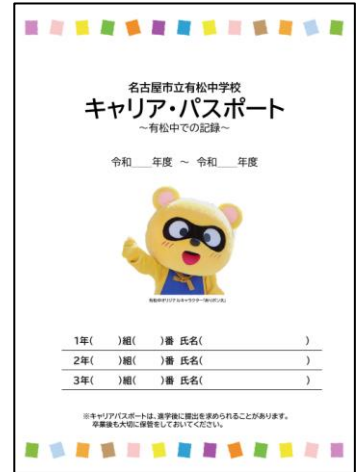
- ① **教科学習**
- ② **教科外活動(学校行事、生徒会活動や部活動、委員会活動など)**
- ③ **学校外の活動(ボランティア等地域活動、家庭での取り組み、習い事など)**

これら3点について、将来を見通しながら、目標を立てたり、振り返りをしたりします。

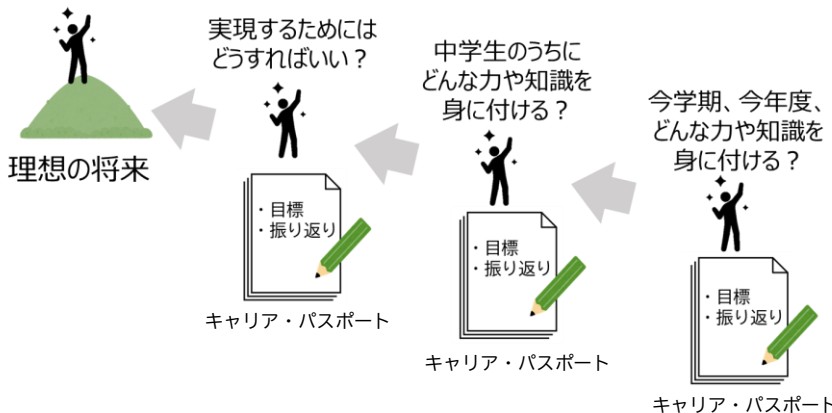
今回は、これからの1年間の目標を立て、自分のことを見つめ直しました。

※参照：キャリア・パスポートの様式例と指導上の留意事項

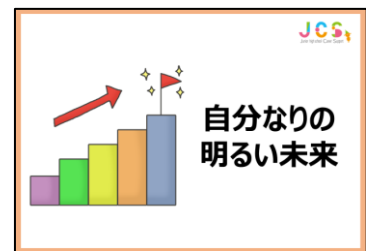
<キャリア・パスポート表紙と記入ページ>



～キャリア・パスポートのイメージ図～



<授業スライド>



目的と手段のはなし

一部の小学校には、6年生の時にキャリアナビ渡邊が授業にうかがいましたが、そのときに、「目的と手段」の話をしました。覚えていますか？初めて聞く人に向けて、また、既に聞いたことある人にはおさらいとして伝えたいと思います。

まず、「目的」と「手段」の意味ですが…

目的 = 最終的に実現したいこと

手段 = 具体的な方法や行動

です。例えば、山登りで例えると、「山頂でいい景色を見ること」と「毎日ジョギングして体力づくりをすること」は、それぞれどちらが「目的」でどちらが「手段」でしょう？

正解は、「山頂でいい景色を見る」ほうが「目的」で、「毎日ジョギングして体力づくりをする」ほうが「手段」ですね。では…



「将来、●●の職業に就きたい」というのは、目的？手段？

皆さんは、どちらだと思いますか？

キャリアナビ渡邊としては、「●●の職業に就く」ことは、「手段」として捉えてほしいと思っています。また、「その職業に就いた後に“実現したいこと”、“成し遂げたいこと”」を「目的」として、見つけていけるのが良いです。例えば、以下のように考えることができます。

手段
(なりたい職業)

目的
(その職業に就いて、実現したいこと)



サッカー選手

—————> サッカーで感動を与えられるようになりたい

保育士

—————> 子どもたちにとって、保育園に来るのが毎日楽しみと思えるような居場所をつくりたい

イラストレーター

—————> 得意なイラストで人を喜ばせたい

バスの運転手

—————> 好きなバスの運転をして、街の人たちの生活を支えたい



「●●の職業になる」ことが目的(最終的に実現したいこと)になっていると、将来もしかするとその仕事なくなる、あるいは仕事内容が変わっている可能性もあります。また、これからの人生の中で、やりたい職業が変わることもあります。その時に、「その職業に就いて、“実現したいこと”」が明確だと、たとえばその職業がなくなったり、自分に合わないと感じたりして、**方向転換したい、しなければならないときに、「同じことを実現できる他の職業がないかな？」と自分に合う職業を探しやすくなります。**

また、具体的になりたい職業が決まっていない人でも、「目的(実現したいこと)」から見つけていくこともできます。

ぜひ、中学校生活の中で、「なりたい職業」の先にある、「実現したいこと」を見つけられるようにしましょう！

～職業に就いた先の目的の例～
「人の役に立ちたい」
「人を命を救う仕事をしたい」
「動物たちのために働きたい」
「人に感動を与えたい」

